

## 第二次環境基本計画実績報告（平成25年度～平成27年度）

## 1 概要

新宿区では、平成15年度に「新宿区環境基本計画」を策定して環境保全に取り組み、平成23年3月には、「新宿区地球温暖化対策指針」を策定し、CO<sub>2</sub>排出削減目標を掲げ地球温暖化対策を推進するための具体的な施策を定め、更なる温暖化対策に取り組みました。

また、平成25年2月には平成25年度から10年間の第二次環境基本計画を策定しました。第二次環境基本計画では、特にエネルギー政策に関する区民意識の変化を捉え、「地域特性に応じたエネルギーの確保と効率的利用の推進」を基本目標の一つとして掲げ、創エネの推進や地域エネルギーマネジメント構築の方向性を示しています。

国が平成27年12月にパリで開催されたCOP21に新たなCO<sub>2</sub>削減目標を提出したことなどから、第10期環境審議会において、「新宿区地球温暖化対策指針」の見直しを行い、区民の省エネ努力が反映できるような新たな削減目標と温暖化対策に繋がる削減行動計画の骨子を策定しました。また、区の温暖化施策の一本化を図るため、「温暖化対策指針」を「環境基本計画」に統合し、平成30年度からの「新宿区第三次環境基本計画」を策定することとしました。

以上の経緯を踏まえ、第11期環境審議会においては、「新宿区第三次環境基本計画」の策定検討に取り組んでいきます。

## 2 本資料について

「新宿区第三次環境基本計画」の策定にあたり、第二次環境基本計画の実績について平成25年度～平成27年度の3年間の実績をとりまとめました。

本資料は、資料3「環境基本計画の基本目標について」における三次環境基本計画の基本目標の策定にあたり、第二次環境基本計画の目標を継続した方が良いもの、修正・変更が必要なもの、新たに加えた方が良いものなどをご検討いただく基礎資料として作成いたしました。新宿区環境白書等と併せてご活用ください。

## 基本目標 1 人と自然が調和したまちの快適性を確保します。

### 個別目標 1-1 自然とのふれあいの場の創出

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○神田川親水テラスの年間利用者数 (一般開放時)	1,114人	953人	1,358人	1,000人
平成26年度は雨天等による閉鎖日数が3日間あったため、目標達成には及ばなかったものの、平成27年度には大幅に増加しており、目標達成できたと考えます。				
○神田川生き物実態調査における 確認種数	10科21種	10科21種	11科22種	10科21種
平成8年度から27年度までの調査において、11科22種が確認されており、目標が達成できたと考えます。				



職員による調査風景



神田川親水テラスの開放

## その他の達成状況

民有地の保護樹木を130本増やすとともに、あらたに公有地の樹木1本を指定し、みどりの保全に努めました。また、屋上緑化講座の開催のほか、2件の屋上緑化助成を行うとともに緑化計画書制度による16件の屋上緑化の計画などにより空中緑花都市づくりを推進しました。

また、区立おとめ山公園について、隣接地を取得し「区民ふれあいの森」として拡張整備し、平成26年10月に全面開園しました。

区有施設緑化においては、区立公園を中心に特色ある植栽による花の名所づくりに取り組みました。また、みどりの協定制による地域緑化の推進やみどりの講座などにより緑化意識の啓発や緑化技術の向上に努めました。

今後も、生物多様性の保全に配慮しながら区民が水辺やみどりなどの自然とふれあえる場の創出に継続して取り組んでいきます。

## 基本目標 1 人と自然が調和したまちの快適性を確保します。

### 個別目標 1-2 都市生活の快適性の確保

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○ごみゼロデー、秋の地域ごみゼロ運動の年間参加者数 (春・秋合計)	7,862人 (401団体)	8,735人 (451団体)	7,497人 (385団体)	11,000人 (450団体)
平成27年度は春のごみゼロデーのうち、5月29日の一斉道路美化清掃活動の新宿駅(東口・西口)が雨天中止となったこと等の影響の結果、参加人数及び団体数が減少となりました。				
○路上喫煙率 (生活道路調査30ヵ所の単純平均)	0.64%	0.74%	0.53%	0.5%
生活道路における路上喫煙率はほぼ目標を達成しています。駅周辺での路上喫煙率についても喫煙所の整備などにより0.2%以下を維持しています。				
○まちの快適性の満足度 ※(アンケート結果による)	推進	推進	推進	➡
「新宿区第二次環境基本計画策定にかかる区民アンケート調査」の「(設問)あなたの身近な環境について」のうち、「まち並みの美しさや環境に配慮した開発など、全体的なまちの快適性」についての満足度(「満足」「どちらかと言えば満足」の合計) 平成24年度アンケート実施時は40.9%、次回は平成29年度実施予定				



年末クリーン大作戦



信濃町駅前喫煙所

### その他の達成状況

景観に配慮したまちづくりの推進のため、地域の景観特性に基づく区分地区として新たに「潤いと歴史かおる四谷駅周辺地区」を追加指定(平成28年3月決定)し、また、景観重要樹木を追加指定(平成28年3月決定)するなど地域特性に応じたきめ細やかな景観まちづくりを推進しており、引き続きこれらの取り組みを実施していきます。また、都市景観の重要な要素である屋外広告物の景観形成についても引き続き取り組んでいきます。

## 基本目標 2 資源循環型の社会を構築します。

### 個別目標 2-1 3Rの推進

環境指標	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 3 4 (目標)
○区民一人1日あたりの区収集 ごみ量	6 3 3 g	6 1 0 g	5 9 2 g	4 3 3 g (H 2 9)
平成27年度の実績では、平成17年度に対して31.6%減と着実に減少しています。今後も目標達成に向けて推進していきます。				
○資源化率	2 1 . 4 %	2 1 . 6 %	2 1 . 8 %	3 5 % (H 2 9)
平成27年度に資源回収方法変更の全域実施に取組み、不燃ごみの減量、資源回収量が増加し、資源化率は増加の傾向にあります。 ※資源化率＝資源回収量÷(区が収集するごみ量＋資源回収量)				
○買い物の際、レジ袋を断る方が多 いまたは、ほとんど受け取らない人 の割合 ※(区政モニターアンケート)	3 3 . 4 %	2 8 . 5 %	3 0 . 3 %	5 0 % (H 2 9)
レジ袋の辞退率は30%前後で伸び悩んでいることから、3R意識の醸成を図るための更なる啓発活動が必要です。				



資源回収ステーション



3R推進キャンペーン

### その他の達成状況

平成27年4月よりびん・缶・ペットボトル・スプレー缶・カセットボンベ・乾電池の拠点回収(約3,600箇所)を、古紙・容器包装プラスチック等の回収をしている資源・ごみ集積所(約21,400箇所)回収に変更しました。平成28年度からは水銀使用製品(蛍光灯、水銀体温計、水銀血圧計)の資源化及び適正処理を開始しています。また使用済小型電子機器等の回収BOXを、特別出張所10ヶ所に設置する予定です。今後もごみの減量や資源化への新たな取り組みを検討し、資源化率の目標達成に向け努力していきます。

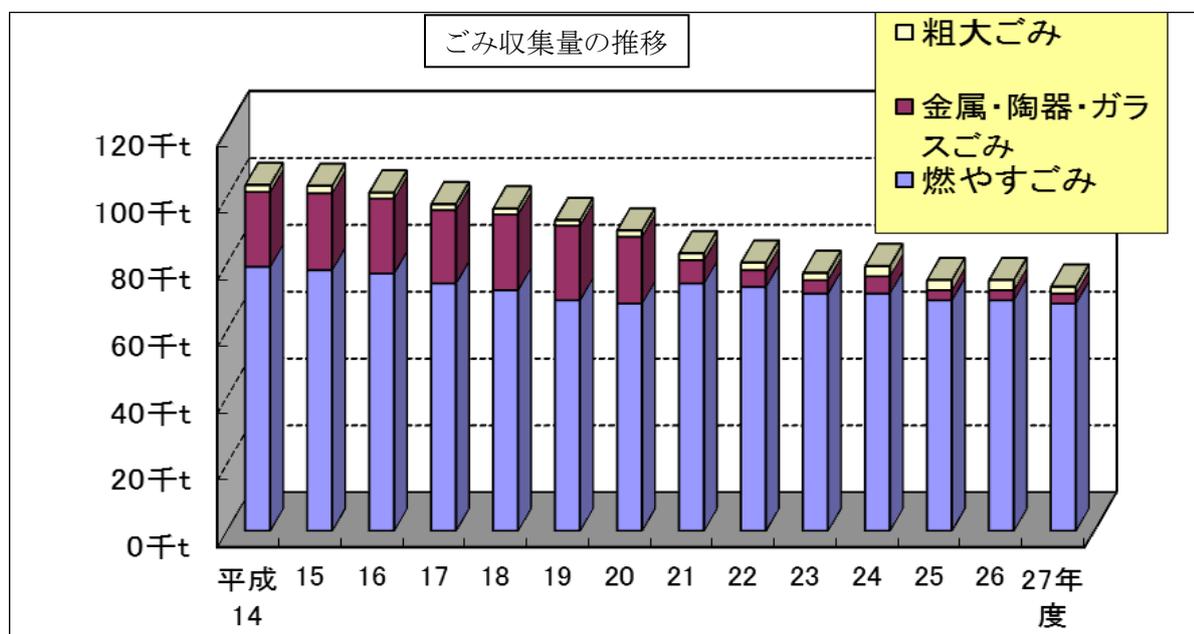
## 基本目標 2 資源循環型の社会を構築します。

### 個別目標 2-2 ごみの適正処理

環境指標	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 3 4 (目標)
○区発注工事における特定建設資材 廃棄物の再資源化率	100%	100%	100%	100%

「東京都建設リサイクル推進計画」（平成19年4月）では、平成27年度末までに建築副産物の再資源化率を99%以上にするとしており、区においても、この目標を踏襲しています。

再資源化率とは、工事現場から発生した特定建設資材廃棄物の重量に対する再資源化等されたものの百分率をいいます。



### その他の達成状況

平成27年度の金属・陶器・ガラスごみの収集実績は前年より31.3%減少し、ペットボトル以外の資源の回収量が増加するなど、資源とごみの排出場所を同一としたことで正しく分別されるようになったと考えられます。

今後も、一般廃棄物処理基本計画に掲げられた“みんなで取り組むチャレンジ目標「ごみ半減、リサイクル倍増」”平成29年度までに区収集ごみ量の対17年度50%減、資源化率35%へ向けて更なる取り組みを進めていきます。

### 基本目標3 身近な環境の安全安心を守ります。

#### 個別目標3-1 公害対策等

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○環境基準100%達成 (各年度調査)	推進	推進	推進	100%達成
<p>環境基準が定められている6種類の大气汚染物質及びダイオキシン類のうち、光化学スモッグの原因となるオキシダントと、PM2.5については、環境基準を達成できていません。</p> <p>※7つの測定項目のうち、5項目は環境基準を達成。</p>				
○苦情処理の対応満足度 (各年度集計)	65%	86%	84%	
<p>苦情に対する要望については、区民の生活様式の多様化に伴い、複雑化・高度化しています。ここ数年の対応満足度は60%程度でしたが、昨年度の86%に引き続き、本年度も84%と高い値を維持しています。区民からの要望に対し今後も迅速かつ的確な対応に努めていきます。</p>				



四谷自動車排出ガス測定局



職員による騒音パトロール

### その他の達成状況

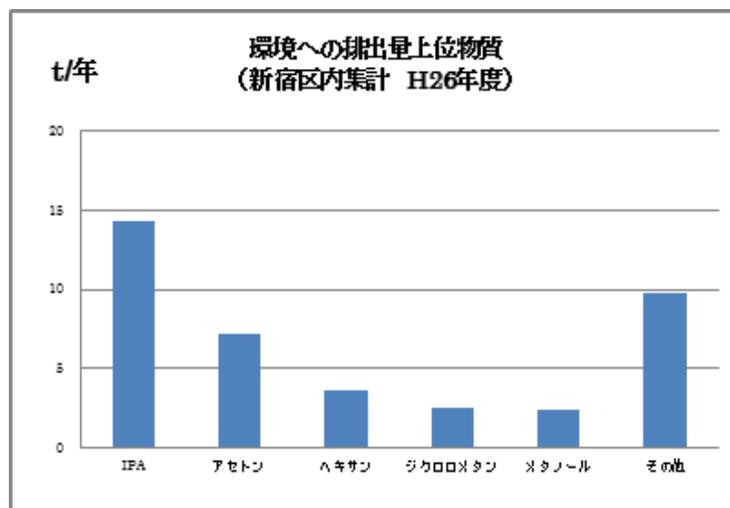
区では、大気質測定だけでなく、道路交通騒音振動測定や、河川水質調査、地下水調査、酸性雨調査など、さまざまな監視・測定を行っています。

今後も新たな環境問題も視野に入れながら、継続して測定を続けていきます。

### 基本目標3 身近な環境の安全安心を守ります。

#### 個別目標3-2 有害汚染物質の適正管理

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○有害汚染物質対策の満足度 (アンケート)	推進	推進	推進	↗
<p>「新宿区第二次環境基本計画策定にかかる区民アンケート調査」の「(設問) あなたの身近な環境について」のうち、「有害汚染物質(有害化学物質、放射能等)対策」についての満足度(「満足」「どちらかと言えば満足」の合計) 平成24年度アンケート実施時は31.2%、次回は平成29年度実施予定</p>				
○吹付けアスベスト除去工事の 補助金助成件数(年間)	8件	2件	2件	7件 (H29)
<p>アスベスト対策が必要な建築物の所有者に対して、継続的にアスベスト除去等工事の啓発、助言を行い、安全化指導を行っていきます。吹付けアスベストが施工されている建築物について、吹付けアスベストの除去等工事にかかる費用の一部を助成します。</p>				



#### その他の達成状況

環境確保条例により、適正管理化学物質について、事業者の自主管理による管理の適正化、環境への排出の抑制、事故の防止等の確保を図っていますが、東日本大震災を受けて、震災等の災害に備えた対策を盛り込んだ化学物質管理方法書の作成を求め、緊急時の対応方法を改めて確認するよう指示しています。

区では、今後も行政担当者の経験や知識など高めることで、事業者への情報提供及び指導を続け、良好な環境の維持に取り組んでいきます。

## 基本目標 4 地域特性に応じたエネルギーの確保と効率的利用を推進します。

### 個別目標 4-1 創エネの推進

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○省エネナビ等貸出し件数 (年間)	130件	40件	17件	500件 (H25~29計)
分電盤に接続し、家庭全体の電気使用量を計測する省エネナビ、コンセントと電化製品の間に設置し、個別の電力消費量を計測するワットモニターの貸出しを行っています。				
○省エネルギー診断実施事業者数	0件	3件	1件	10件 (H29)
事業者向け省エネルギー診断については、申請の煩雑さや周知不足、診断後の支援体制が整っていないことなどから実施件数が伸び悩んでいます。平成28年度から診断を受けた事業者に対し、LED照明設置補助を行うなど、事業者の省エネ行動を促進していきます。				
○街路灯のLED化基数	390基 (H23~H25)	1,145基 (H23~H26)	2,261基 (H23~H27)	3,200基
平成31年度に小型街路灯4,529基全てのLED化を完了する予定です。				
○区有施設への太陽光発電設備機器 (10kW程度以上)の設置数 (累計)	10施設	11施設	14施設	15施設
平成27年度には、落合第五小学校、四谷中学校など3か所に太陽光発電設備を設置しました。				



### その他の達成状況

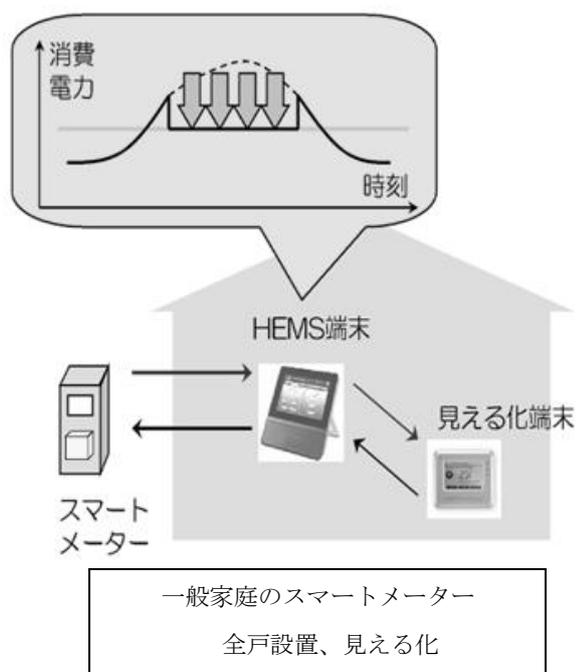
区有施設への新エネルギー（太陽光・風力発電等）の導入は進んでおり、太陽光発電システム（10kW以上）については平成27年度に3基新設（累計14基）し、平成34年度の目標達成に向けて前進しています。事業者向け省エネ診断については、昨年度と比較して件数が減少しましたが、平成28年度から申請手続きを簡略化するとともに、省エネ診断と省エネアドバイスを総合的に行う「中小事業者省エネルギー対策支援」を開始し、件数の増加に努めます。

また、一般住宅への太陽光発電設備や太陽熱利用給湯設備、高効率給湯器の設置、雨水利用設備、屋根・屋上面への高反射率塗装に対する費用助成については、平成28年度から新たに「断熱窓改修」を対象に加え、引き続き新エネルギー等の普及を促進していきます。

## 基本目標 4 地域特性に応じたエネルギーの確保と効率的利用を推進します。

### 個別目標 4-2 地域エネルギーマネジメント構築の促進

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○スマートメーターの設置	推進	推進	推進	100%
スマートメーターの設置は電力事業者により順次、進められています。				
○電力デマンド監視システムの設置	推進	推進	推進	100件
電力デマンド監視システムは大容量の電力を消費する工場などに導入されるもので、電気の使用状況や実態を把握・分析し、その結果をもとに「デマンド（需要）管理」を行うことでピーク電力の抑制などを行うものです。				



省エネ診断による  
エネルギー対策の促進

## その他の達成状況

スマートコミュニティは第二次環境基本計画から取り入れた新しい考え方です。新エネルギーの活用と省エネルギーを推進するため、スマートコミュニティのあり方を検討していきます。電力デマンド監視システムはスマートコミュニティを形成する一つであり、今後、区の地域特性にあった導入方法について先進自治体の事例に学びながら検討を進めていきます。

また、電力会社によるスマートメーターの設置については、平成28年4月からの電力自由化に合わせ、更新が進んでいます。

## 基本目標5 地域・地球環境に配慮した環境都市づくりを進めます。

### 個別目標5-1 地球温暖化対策の推進

環境指標	H25	H26	H27	H34 (目標)
○温室効果ガス排出量 (H2年比)	+19.1% (H23)	+31.2% (H24)	+29.9% (H25)	-25% (H32)
<p>目標 (H32) は、新宿区地球温暖化対策指針の目標 平成27年12月のCOP21に国が新たな温室効果ガス削減目標を提出したことから、区でも新たな目標を策定し、温暖化対策を進めていきます。</p>				
○全公用車に対するエコカーの導入割合	90.5%	90.5%	90.0%	100%
<p>区の公用車の買い替えの際には、その時点での東京都指定低公害車の基準を満たす車両に更新するようにしています。</p>				

※温室効果ガス排出量は、温室効果ガス排出量算定手法の標準化を特別区協議会が実施し、各区排出量を算出していますが、算出に時間を要するため最新の数値が平成25年度の数値となります。



伊那市でのカーボン・オフセット



「新宿の森」環境体験学習

### その他の達成状況

温室効果ガスの排出削減のためには、区が率先して削減に努め、事業者及び区民と連携して対策を進めていくことが重要です。区民や事業者が継続して省エネに努め、温暖化対策に取り組んで行けるように、効果的な支援を行い温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。

また、区では、独自の取り組みとして、長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市と「地球環境保全のための連携に関する協定」を締結し、植林や間伐などの森林整備、区民参加型の環境体験学習を実施しています。平成27年度の環境体験学習は3か所合計で101名の区民が参加しています。

## 基本目標5 地域・地球環境に配慮した環境都市づくりを進めます。

### 個別目標5-2 ヒートアイランド対策の推進

環境指標	H25	H26	H27	H34(目標)
○緑被率(各年時点での調査)	17.87%	17.87%	17.48%	18.47% (H29)
目標(H29)は、新宿区みどりの基本計画の目標 緑被率調査は5年毎に実施 緑被率は主に草地の消失による減少となりました。				
○環境配慮型舗装の整備面積(年間)	1,222m <sup>2</sup> 累計 42,183m <sup>2</sup>	1,103m <sup>2</sup> 累計 43,286m <sup>2</sup>	1,210m <sup>2</sup> 累計 44,496m <sup>2</sup>	50,305m <sup>2</sup>
遮熱性舗装を実施し、ヒートアイランド対策に努めています。				
○みどりのカーテン数(年間)	2,128枚	2,072枚	2,038枚	2,000枚 (H27)
目標(H27)は、新宿区第二次実行計画の目標ですが、3年間とも目標を上回ることができました。				



みどりのカーテン



打ち水大作戦

### その他の達成状況

ヒートアイランド現象の緩和に向けた対策としては、遮熱性舗装の導入や、放射量を減らし日陰をつくるみどりの確保、建築物の密集の改善など、複合的な対策をとることが必要です。

また、区民自ら熱の発生を抑えるため、空調の設定温度を適切に保つなど、省エネルギーへの取り組みも欠かせません。

みどりのカーテンについては平成27年度は2,038枚のカーテンを設置し目標を達成しました。更そして、家庭でできる土のリサイクル講座や生ごみからたい肥づくり講座・雨水利用促進と、資源循環型の取り組みを同時に行いました。打ち水大作戦では、平成27年度は15,854人が参加し打ち水実施後、路面温度が5~10度程度下がり、効果が確認できました。打ち水の中には、井戸水や再生水、排水を活用して行うものもありました。環境配慮型舗装については、目標の達成に向けて今後も着実に推進していきます。